

自治体名	兵庫県
------	-----

女性の健康支援対策の概要

一人ひとりの女性が主体的に自らの健康に目を向け、日常生活の中で、あるいは、医療サービス・保健サービスの利用に際して主体的な生涯を通じた健康づくりを実践できるよう支援し、その効果を実証及び評価することを通じて、検診受診率の向上を含め女性の健康づくりを推進する。

自治体の特徴

北は日本海に面し、南は瀬戸内海から淡路島を介して太平洋へと続いている。
大都市から農山村、離島までさまざまな地域で構成されている。

人口構成・(H21.10.1現在) (単位：千人) ※人口推計

	総数	男	女
人	5,583	2,671	2,912
割合(%)	100	47.8	52.2

15歳未満	771	394	377
15～64歳	3,538	1,730	1,808
65歳以上	1,273	546	727
75歳以上	588	224	364
85歳以上	155	43	112

女性に関する健康課題

県民意識調査(平成20年調査)において、健康作りに取り組んでいる人は60%程度となっている。都市部、農村部において顕著な差は見られないが、県としては75%以上の県民が取り組むよう目標を掲げている。

思春期世代の課題としては、10代の人工妊娠中絶は減少傾向にあるとはいえ、600件余りの件数を数えている。

中高年期の課題としては、骨粗鬆症検査において、受診者の4分の1が要指導で生活習慣病の予備軍的な結果となっている。(60代以上がその大半を占める)

また、女性特有のがん検診受診率は全国平均を下回っている(H19年度国民生活基礎調査において、子宮がん検診16.8%、乳がん検診14.1%の受診率)ため、受診率向上の方法について模索しているところである。

事業費(千円)

(1) 思春期から30歳代における健康支援事業	2,000
(2) 中高年期における健康支援事業	1,649
(3) 女性のがん支援事業	2,647

計

6,296

(1) 思春期から30歳代における健康支援事業

事業名	思春期から30歳代における健康支援事業
分野	<input checked="" type="checkbox"/> 健康教育 <input type="checkbox"/> 健康手帳の交付 <input type="checkbox"/> 健康相談
事業費(千円)	2,095千円

事業目的

健やかな妊娠・出産を支援するために、中高生が、女性の心身の健康の重要性を理解し、主体的に健康づくりができるよう啓発媒体を作成・配布する。

事業対象

高校生

事業実施体制・展開

- 1 事業委託先：日本助産師会兵庫県支部
- 2 委託内容
 - (1) DVDの作成
 - ① 内容：「思春期の若者の性と生の健康問題」
「将来設計をするための自己決定能力」
 - ② 配布先：県内高校等
 - ③ 作成枚数：500枚
 - (2) リーフレットの作成
 - ① 内容：「思春期の若者の性と生の健康問題」
「将来設計をするための自己決定能力」
 - ② 配布先：県内高校等
 - ③ 作成枚数：15,000枚
- 3 高校生のニーズ調査を実施
 - ① 方法：圏域の異なる高校を対象に、保健所を通じて養護教諭に協力依頼を行う。
 - ③ 対象：4高校計268人に実施
 - ④ 内容：生と性教育に関して知りたいこと
 - ⑤ 結果：DVD、リーフレットの内容に反映
- 4 教育委員会との連携

DVD、リーフレットの内容について県教育委員会と調整
- 5 DVD、リーフレットの配布

配布先：高校等、保健所、市町、その他関係機関

事業目標・評価項目 及び その結果

事業評価

- 作成したDVDが学校において、活用するか否かを、実際に活用する養護教諭及び保健体育担当教諭にアンケート調査を実施した。
 - ① アンケート回答者数 36人
 - ・ 所属：県立高校23人、私立高校9人、その他4人
 - ・ 職種：養護教諭19人、一般教諭（保健体育）17人
 - ② DVDの使用について
 - ・ 使用できる28人、内容が不適当なため使用できない部分がある8人
- 配布先及び配布数
 - ① DVD：学校44、健康福祉事務所19、市町41
 - ② リーフレット：学校440、健康福祉事務所2,000、市町5,000
今後、希望に基づき配布予定
- DVD、リーフレット活用学校数：0

事業の工夫点

- 内容や進捗状況を確認するため、県・委託先（日本助産師会兵庫県支部）との連絡会議を適宜開催した。
- 中学校、高校の教科書（保健体育・家庭科）の内容との整合性を確認した。
- DVDは、胎児の映像等、リアリティのあるものを使用することにより、教育のための意識づけを行うようにした。
- リーフレットは、思春期の若者が興味を示しやすくするため、Q&A方式にした。

事業の効果についての評価・考察

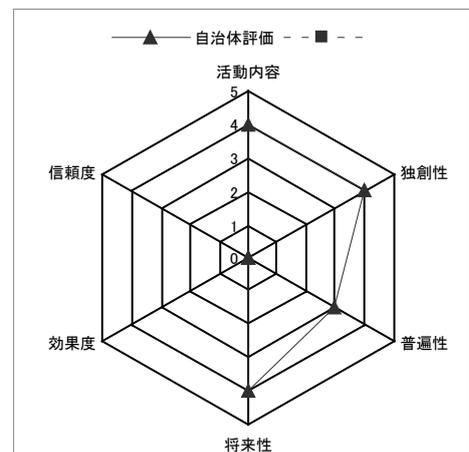
- 事業開始が遅れ、当所予定していた高校生を対象としたニーズ調査が実施できなかったため、DVD（試作版）を配布し、活用方法についての学校教諭に対するアンケートにより評価を実施した。このことは、アンケート結果を内容に反映させるだけでなく、事前にDVDについて周知する機会にもなった。
- DVDの内容について、「使用できない」と回答した者はなかったが、部分的に学校教育に不相当という意見が、数件あったことから、学校現場で使用できる内容に修正した。これにより、健康福祉事務所と学校が連携して、思春期保健対策に活用ができることとなった。

今後の課題

- 事業対象者である高校生に対して、媒体の有効性について検証するため、今後、媒体を活用した健康教育の実施状況及び、健康教育を受けた者へのアンケート等の実施により、評価を行う必要がある。
- 今後、DVD等の活用推進を図るために、各圏域で実施している思春期ネットワーク会議を活用し、活用事例の情報交換等を行う。

ホームページ	準備中
照会先	兵庫県健康福祉部健康局健康増進課保健指導係

事業評価	(企画評価委員会で評価)	
①活動内容	4	地域で開催している思春期保健ネットワーク会議において学校保健と連携して、活用状況、効果を検討することができる。
②独創性	4	若者の生と性の自己決定をテーマとした行政によるDVDは、他にない。
③普遍性	3	他自治体でも取り組み可能である。
④将来性	4	DVDは、教育媒体として、継続して使用できる。
⑤効果度	—	
⑥信頼度	—	



思春期の皆さんへのメッセージ

大切にしたい生と性 — 自分らしく生きるために

助産師
より

生活リズムを
整えよう

見つけよう
自分の
いいところ

心と体の
バランスのとれた
大人になろう!

遠って
あたり前

姿がたちは
個性です

月経は健康の
バロメーター

知ってる
つもり

置している
つもり

「つもり」は
大きなまちがい

適性
している
つもり

家族や友達、
先生と
話をしよう!

性を正しく理解し
慎重に
行動しよう!

情報の
取捨選択

行動
スキル

あなたの
正解率は?

クイズ

- Q.1 初経(初潮)後しばらくの間は妊娠しない
- Q.2 避妊は相手にまかせておけば大丈夫である
- Q.3 月経が不順だと妊娠しない
- Q.4 月経は何ヶ月も来なくても放っておいてよい
- Q.5 性病感染にかかっても症状に気がつかないことがある
- Q.6 日本ではHIV感染している人(エイズ)が増えている
- Q.7 メールで気持ちには十分に伝わる
- Q.8 ネットの情報は簡単に手に入り、安心である
- Q.9 朝ごはんを食べなくても体の機能は保たれる
- Q.10 マスターベーションは身体に悪い

正解は6割

社団法人 日本助産師会 兵庫県支部 兵庫県

思春期の生と性

社団法人 日本助産師会 兵庫県支部 兵庫県 DVD VIDEO

健康づくりに関するアンケート調査結果

性別	男性	女性	計
20歳未満	0	31	31
20歳代	0	29	29
30歳代	0	9	9
40歳代	0	20	20
50歳代	0	17	17
60歳代	0	11	11
70歳代	0	1	1
80歳以上	0	0	0
計	0	109	109

※ 以下はの自覚症状はありますか。(複数可) (女性のみの回答)

項目	回答数
月経不順	13
月経痛	39
その他	17

※ 避妊、医療にかかっていますか。(〇は1つ)

性別	男性	女性	計
20歳未満	0	24	24
20歳代	0	24	24
30歳代	0	4	4
40歳代	0	7	7
50歳代	0	19	19
60歳代	0	3	3
70歳代	0	1	1
80歳以上	0	0	0
計	0	82	82

※ 健康診断(40歳以上75歳未満は特定健康診断)を毎年受診していますか。(〇は1つ)

性別	男性	女性	計
20歳未満	0	1	1
20歳代	0	4	4
30歳代	0	10	10
40歳代	0	11	11
50歳代	0	0	0
60歳代	0	0	0
70歳代	0	0	0
80歳以上	0	0	0
計	0	26	26

※ 健康診断(40歳以上75歳未満は特定健康診断)を毎年受診していませんか。(〇は1つ)

性別	男性	女性	計
20歳未満	0	2	2
20歳代	0	2	2
30歳代	0	2	2
40歳代	0	1	1
50歳代	0	1	1
60歳代	0	1	1
70歳代	0	1	1
80歳以上	0	0	0
計	0	10	10

※ 健康診断(40歳以上75歳未満は特定健康診断)を受診していませんが、その理由は何ですか。(複数可)

理由	件数
時間がない	1
費用がかかりすぎる	2
健康診断がなかった	1
費用負担が大きい	1
健康診断がなかった	1
健康診断を受ける必要はない	1
健康診断を受ける必要はない	1
その他	2

※ 健康診断(40歳以上75歳未満は特定健康診断)を受診していませんが、その理由は何ですか。(複数可)

理由	件数
時間がない	1
費用がかかりすぎる	2
健康診断がなかった	1
費用負担が大きい	1
健康診断がなかった	1
健康診断を受ける必要はない	1
健康診断を受ける必要はない	1
その他	2

健康づくりに関するアンケート調査結果

性別	男性	女性	計
20歳未満	0	11	11
20歳代	0	11	11
30歳代	0	9	9
40歳代	0	6	6
50歳代	0	27	27
60歳代	0	0	0
70歳代	0	0	0
80歳以上	0	0	0
計	0	74	74

※ 健康診断(40歳以上75歳未満は特定健康診断)を受診していませんが、その理由は何ですか。(複数可)

理由	件数
時間がない	1
費用がかかりすぎる	2
健康診断がなかった	1
費用負担が大きい	1
健康診断がなかった	1
健康診断を受ける必要はない	1
健康診断を受ける必要はない	1
その他	2

※ 健康診断(40歳以上75歳未満は特定健康診断)を受診していませんが、その理由は何ですか。(複数可)

理由	件数
時間がない	1
費用がかかりすぎる	2
健康診断がなかった	1
費用負担が大きい	1
健康診断がなかった	1
健康診断を受ける必要はない	1
健康診断を受ける必要はない	1
その他	2

社団法人 日本助産師会 兵庫県支部 兵庫県

(2) 中高年期における健康支援事業

事業名	中高年期における健康支援事業
分野	<input checked="" type="checkbox"/> 知識の提供 <input type="checkbox"/> 健康相談 <input checked="" type="checkbox"/> 情報提供
事業費(千円)	1,649千円

事業目的

中高年の女性が主体的な健康づくりができるよう、必要な健康に関する知識、利用可能な健康サービスの情報提供を行う。

事業対象

主に40歳から64歳の女性

事業実施体制・展開

① 情報提供の内容

ア 健康に関する知識

加齢に関する基礎知識、更年期障害やメタボリックシンドロームなどの生活習慣に関連する健康問題、メンタルヘルス等、自身の健康についての理解を助ける情報、特定健診・保健指導についての情報を提供

イ 居住地別健康サービス

市町等で実施されている健診や健康相談、健康づくりに関連する住民グループの活動、ウォーキングコースや運動施設などの健康づくりを実践する際に参考となる健康サービス情報を調査し、得られた情報を居住地別に整理して提供

ウ イについては、健康サービス情報の収集を市町等に対して調査を実施し、とりまとめる。

エ アの健康に関する知識とイの居住地別健康サービスをあわせた健康情報集(啓発リーフレット)及び体重、歩数、月経記録などを記載する自己管理用リーフレット及びポスターを作成する。

オ 作成部数:リーフレット各30,000部、ポスター1,000部

② 提供方法

ア リーフレット等の配布

市町、健康福祉事務所等に依頼し、ポスターの掲示及び健康づくり事業における健康教室、健康相談、健康に関連する講演会や研修会等でリーフレットを配布し説明する。

イ ホームページへの掲載

健康に関する知識、居住地別健康サービスの情報提供については、県のホームページに掲載。

事業目標・評価項目 及び その結果

事業評価

ア 健康づくり事業や講演会、研修会においてリーフレットを配布した場合、簡易アンケートによる対象者の意識の変化(事業によってはアンケート用紙を使用し、会場にて回収、場合によっては郵送回収も実施)

- リーフレット配布数(41市町15,800、13県健康福祉事務所5,200、愛育班2,600、産業保健推進センター等労働関係機関6,400)
- ポスター配布数(41市町410、13県健康福祉事務所26、県総合庁舎20、県立施設94、県立病院26、広報掲示板40、その他関係団体等【医師会、商工会等】384)
- 講演会・研修会でのリーフレット配布数(がん対策講演会等【1/27 80名、2/3 88名、2/26 120名】、生活習慣病予防研修会【3/28 30名】)
- 健康意識アンケート回収数 207
- 骨粗鬆症検診受診者数(95人中23人)、特定健康診査受診者数(140人中132名)・特定保健指導実施者数(17人中10人)(アンケート調査による)

イ ホームページのアクセス件数 411件(H22.3月末現在)

事業の工夫点

- リフレットの作成については、実際に現場で関わっている職員等の意見を取り入れながら、できる限りわかりやすくイラストを多用することを心がけた。特に特定健診のリフレットについては、母親世代である中高年の女性にまず見てもらうことが大事であるという観点で子供からのアドバイスという今までとは違ったタイプのものを作成した。
- 運動施設等の健康サービス情報については、情報内容が更新されることが多いことから直接アクセスできるように可能な限り施設毎に URL を掲載した。

事業の効果についての評価・考察

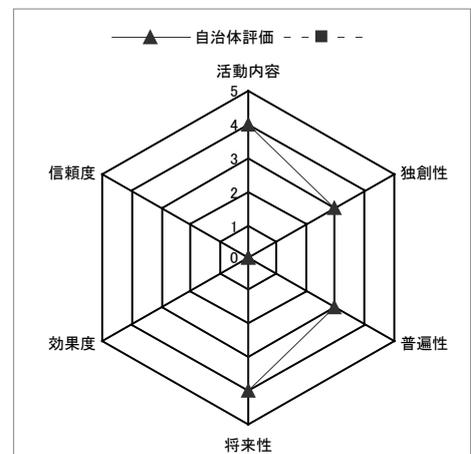
- アンケートを集計した結果、医療機関にはかかっていないが、複数の自覚症状がある方が意外と多いことがわかった。症状を放置せず、受診や健診を促す今回のリフレットやホームページの作成は有効であると考えられる。
- 健診結果で異常があった方も半数近くあり、特定保健指導の対象となったものは132人中17人であった。うち7名が仕事が忙しい等の理由で指導を受けていないことから、本人の自覚だけでなく、職場の理解も必要であると考えられる。
- 骨粗鬆症検診について、24.2%しか受診されておらず、未受診理由として、仕事で忙しい、知らなかったという回答が多く、中には元気だから意識していないという回答もあった。検診の必要性の周知や健診情報が十分に伝わっていないといった広報面が課題であり、さまざまな機会を捉えてて普及啓発を図る必要がある。

今後の課題

リフレットと一緒にアンケート用紙の配布、ホームページでの健康サービス情報の提供を行ったことで、アンケート結果やホームページアクセス件数をみると健康に対する関心の高さがわかったものの、今後は特に未受診者（骨粗鬆症や特定健診・特定保健指導等）が受診するよう関係者と協力しながら、広報を含めどのように働きかけていくかが課題である。

ホームページ	http://web.pref.hyogo.lg.jp/life/cate3_111.html
照会先	兵庫県健康福祉部健康局健康増進課生活習慣病対策係

事業評価	(企画評価委員会で評価)	
①活動内容	4	愛育班や商工会など地域に密着したところを通じて、情報提供ができる。
②独創性	3	ホームページの掲載は工夫できたが、独創性は少なかった。
③普遍性	3	他の自治体でも実施可能である。
④将来性	4	データを更新しながら提供することで継続的な情報提供が可能である。
⑤効果度	—	事業開始が遅れたため、この事業による対象者の変化や受診率の変化の確認までできない。
⑥信頼度	—	



(3) 女性のがん健康支援事業

事業名	女性のがん（子宮がん、乳がん等）支援事業
分野	<input checked="" type="checkbox"/> 啓発活動 <input type="checkbox"/> 健康教育 <input type="checkbox"/> 健康相談
事業費（千円）	2,647

事業目的

子宮頸がんの細胞診やマンモグラフィーによる乳がん検診の受診率向上を図るための啓発活動を行う「がん対策推進員」等を対象とする研修会を実施し、啓発活動を支援する。

事業対象

がん対策推進員又は今後がん対策推進員の活動が見込まれる者

事業実施体制・展開

- ① 県下13市町に設置されている健康福祉事務所が主導となり、事業対象者へ研修会を行う。
 （内容）・兵庫県のがんの現状及びがん対策に関すること
 - ・がん検診の必要性に関すること
 - ・がん患者による体験談に関すること
 - ・がん検診の受診方法に関すること
 - ・がん対策推進員の活動に関すること
 - ・がん検診の普及啓発に関すること
- ② 受講者ががん対策推進員として、地域において受診勧奨活動を行い、より多くの県民にがん検診の必要性について理解を深めてもらい、受診に繋がるように働きかけを行う。

事業目標・評価項目 及び その結果

- ① 研修会の実施回数（目標：各健康福祉事務所で1回以上の実施） 21回実施
- ② 研修会の受講人数（目標：各健康福祉事務所で100人程度） 1,222人
- ③ 参加者へのアンケート調査

がん検診の定期的受診	受けようと思う	92.0%
啓発活動につて	取り組んでいきたい	96.2%
- ④ 研修会受講後の受診勧奨活動

各種団体（いずみ会、自治会等）においては、団体構成員や一般住民への受診勧奨、啓発リーフレット等の配布を行った	個人においては、家族や知人等への受診勧奨を行った
--	--------------------------
- ⑤ 受講者名簿の作成 受講者全員について作成

事業の工夫点

地域における健康づくりのリーダーとして市町に設置している「がん対策推進員」を対象に研修会を実施することにより、地域に密着した活動への期待がある
市町やがん拠点病院等と連携を図り開催した。

事業の効果についての評価・考察

兵庫県健康対策協議会において、事業の効果について検討した。

- ① 当県の子宮がん及び乳がんの検診受診率は全国平均を下回る状況にあり、女性がん検診の受診促進は「兵庫県がん対策推進計画」においても、がん対策の主な課題の一つとなっている。今回、各地域において受診勧奨を行う「がん対策推進員」に対して研修会を行うことにより、その地域の実情に応じた啓蒙活動ができるのではなかと期待がもてる。
- ② 事業の効果については、参加者から有意義であったとの感想が多く、研修会受講後、がん検診受診勧奨を積極的に行っているとのアンケート結果もあり、一定の効果は得られたと評価できる。
- ③ 地域の実情に応じた活動を根差すためにも、今後も市町やがん拠点病院等と連携を図りながら、今後も同様な研修会を行うことによって、普及啓発活動の底辺が広がると考えられる。

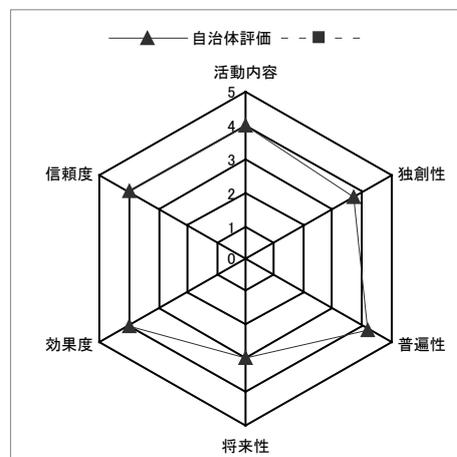
今後の課題

「がん対策推進員」に対して継続的にがん検診等に係る情報の提供方法や、推進員自体の増員をどのような形で行うかの検討は必要であるとする。

市町やがん拠点病院と連携を図っていくためにも、継続的に働きかけを行う必要がある。

ホームページ	準備中
照会先	健康福祉部健康局疾病対策課

事業評価	(企画評価委員会で評価)	
①活動内容	4.0	地域の実情に沿った活動ができる
②独創性	3.8	団体及び個人の活動力に左右はされるが、効果への期待はもてる
③普遍性	4.2	各自治体でも実施可能と考えられる
④将来性	3.0	今後の研修会等の内容のマンネリ化を防げるのか。
⑤効果度	4.0	地域活動が主となるのでその地域への啓蒙は浸透できると思える
⑥信頼度	4.0	がん検診受診の意識の高い団体、個人のため活動に期待が持てる



以下の設問について、選択肢から1つ(設問によっては、複数)を選んで○印を記入して下さい。

- 問1 過去2年間に、がん検診を受けたことがありますか。
 1 受けたことがある→問3へ
 2 受けたことがない→問2へ
- 問2 がん検診を受けなかった理由は何ですか。あてはまるもの全てに回答してください。
 1 どこでがん検診を受けることができるか分からなかったから
 2 時間がなかったから
 3 受診できる医療機関が少なく不便だから
 4 費用がかかり、経済的に負担になるから
 5 毎年受ける必要性を感じないから
 6 健康状態に自信があり、必要性を感じないから
 7 検査に伴う苦痛などに不安が生じるから
 8 心配な時はいつでも医療機関を受診できるから
 9 結果が不安なため、受けたくないから
 10 面倒だから
 11 たまたま受けていない
 12 まだそういう年齢ではない
 13 その他()
 14 特にない
- 問3 当研修会を受講するまで知らなかった内容全てに回答してください。
 1 兵庫県のがん検診受診率が低いこと
 2 兵庫県がん対策推進計画の内容
 3 日本では2人に1人が、がんになり、3人に1人が、がんで死亡していること
 4 がん検診(胃・肺・大腸・乳・子宮)の対象年齢、検査項目
 5 がん検診を受診出来る医療機関
 6 その他()
- 問4 研修会を受講して、今後、がん検診を定期的に受けようと思いませんか。
 1 受けようと思う
 2 どちらともいえない
 3 受けようと思わない

- 問5 研修会を受講して、家族や親戚、近隣住民に対して、がん検診の受診を勧めようと思いませんか。
 1 勧めようと思う
 2 どちらともいえない
 3 勧めようと思わない

- 問6 今後、がん検診の受診勧奨をするに当たり、受診可能な医療機関や申込方法以外に必要なと思われる情報があれば、記入してください。

- 問7 その他、研修会を受講した感想や要望など、自由に記入してください。

私、(氏名) _____ は、がん対策推進員として下記のとおり活動を行ったので、報告します。

1 団体活動としての取り組み

- 問1 所属している団体名を記入して下さい。
 団体名: _____
- 問2 団体活動として、がん検診の普及啓発に取り組んだ内容を以下に記入して下さい。
 (記入例: 12月12日に、三宮商店街にて、一般市民を対象に、がん検診の普及啓発チラシを全体で1,000部配布した など)
 日 時: _____
 場 所: _____
 対 象: _____
 活動内容: _____

2 個人としての取り組み

- 問3 どういった人にごがん検診の受診勧奨の声かけを行いましたか。該当する選択肢全てに○を記入して下さい。
 1 家族
 2 親戚
 3 近隣住民
 4 その他()
- 問4 おおよそ何人にごがん検診受診勧奨の声かけを行いましたか。該当する選択肢に○を記入して下さい。
 1 10人未満
 2 10人～50人未満
 3 50人～100人未満
 4 100人以上
 5 その他()
- 問5 がん検診受診勧奨の声かけを行った結果はどうでしたか。
 1 がん検診の必要性を理解してもらえた
 2 分からない
 3 がん検診の必要性を理解してもらえなかった
 4 その他()

- 問6 実際にがん検診の受診勧奨をしてみて、地域の住民が、がん検診を受診するには、どのような取り組みが必要だと思いますか。(実際の体験談でも可能。)